

西部軸 学術と文化が交流するまち

おおよその区域

・関屋分水路以西の国道116号、主要地方道新潟寺泊線、JR越後線沿線を中心とした区域

まちづくりの方向

- ・佐潟に代表される豊かな自然環境の保全と活用に努める
・国際性豊かな研究施設である大学に通う学生を含め、住民の世代を越えた交流による、いきいきと生活できるまちづくり



Table with 3 columns: Project Name, Description, and Priority Number. Includes items like 'Water and Green Bird's Nest' and 'University regional research'.

- 1 魅力ある産業としての農業プロジェクト
2 水と緑のネットワークプロジェクト
3 有機リサイクルによる環境保全型農業の推進プロジェクト
4 アグリパークを拠点とした交流と産業の創出プロジェクト

多機能型農業振興地域 安全な食料供給基地

位置付け

・都心周辺部を取り囲み、発展・連携軸間に広がる地域。この地域においては農業の持つ多面的な機能を発揮する

整備の方向と担うべき機能

・環境に配慮した安全で安心な食料を供給するという基本的機能に加え、水資源の確保などの国土保全機能、地域の伝統文化の継承などの都市と農村の交流拠点機能、憩いと潤いの空間を創造する機能

おおよその区域

・信濃川と国道116号新潟西バイパスの接点より南側に広がり、信濃川、中ノ口川、国道8号沿線を中心とした区域

まちづくりの方向

- ・信濃川・中ノ口川の両河川によって育まれる広大な農地の広がりによって代表される豊かな自然環境と調和したゆとりある居住環境の整備を目指す
・恵まれた都市交通体系を生かし、ものづくりや観光を通じたにぎわいのあるまちづくり

- 1 ものを創りだす喜びを共有するまち
アグリパークの整備
観光施設やイベント会場での農産物の宣伝・販売の強化
道の駅の整備
伝統工芸に触れる場の整備
2 快適な居住環境の整備
国道8号白根バイパスなど国県道等幹線道路の整備
国道460号バイパスの整備
大外環状道路の整備
新交通システムを含む新たな交通輸送システムの導入



南部軸

ものを創り出す喜びに満ちたまち

新潟都市圏ビジョン

新潟都市圏ビジョンは、新潟都市圏総合整備推進協議会が、21世紀の中核拠点都市を目指す新潟都市圏(注1)にふさわしい都市のかたちとして、「田園型政令都市・新潟」を提案したものです。「世界にはばたく交流拠点の実現」と「高次都市機能と豊かな自然環境との調和・共存」を基本理念に、新しい都市の姿や目指すべき方向を地域別に示しています。

高次都市機能の集積した都市圏の中心となる「都心および都心周辺部」と、各地域の拠点を結ぶ豊かな自然環境と快適な居住環境が調和した発展・連携軸を4つ設定。豊栄市方面を「北部軸」、新津市方面を「東部軸」、白根市方面を「南部軸」、西川町方面を「西部軸」とし、各軸の間の地域は「多機能型農業振興地域」として

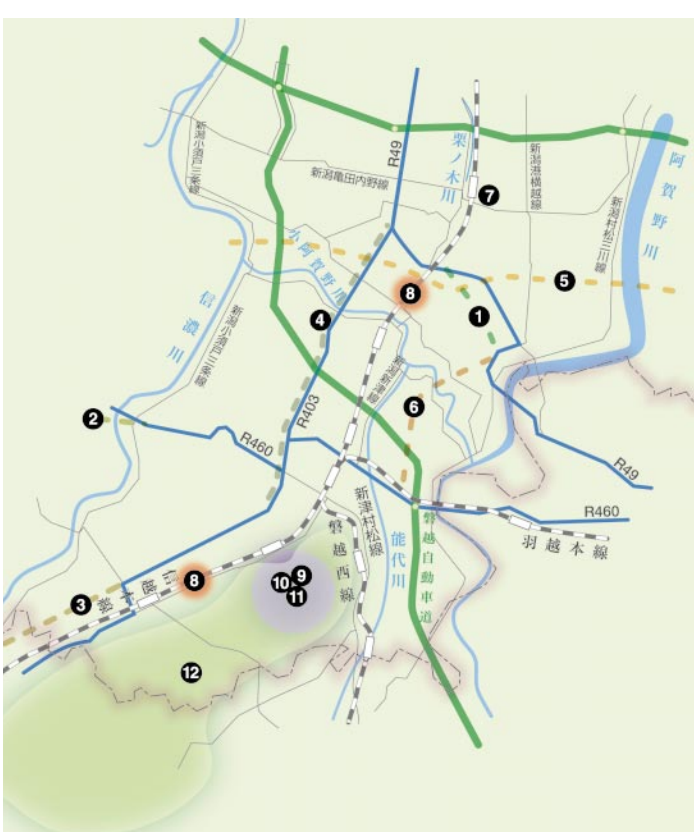
います。なお、同ビジョンは計画期間を定め実施する総合計画などとは性格が異なり、新潟都市圏の将来像を考える上でのひとつの提案です。



注1 「新潟都市圏」の対象とした地域は、新潟都市圏総合整備推進協議会の構成市町である新潟市、新津市、白根市、豊栄市、聖籠町、横越町、亀田町の7市町に、小須戸町、西川町、味方村、月潟村、中之口村の5町村を加えた地域です。

凡例 (Legend) table with symbols for city boundaries, axes, and development areas.

- 1 快適な居住環境の整備
国道49号横巻バイパスの整備
国道460号バイパスの整備
国道403号バイパスの整備
国道403号の4車線化
大外環状道路等幹線道路の整備
阿賀バイパス整備
ピトーブ型公園の整備
信越本線新駅設置、交通基盤の整備と連動した優良宅地の開発
2 バイオリサーチパーク構想の推進
新潟薬科大学の移転統合
バイオリサーチパーク構想の推進
国際的なバイオ研究機関の誘致
3 新エネルギーによる環境にやさしいまちづくり
4 里山を活用した観光プロジェクト
里山の整備



北部軸

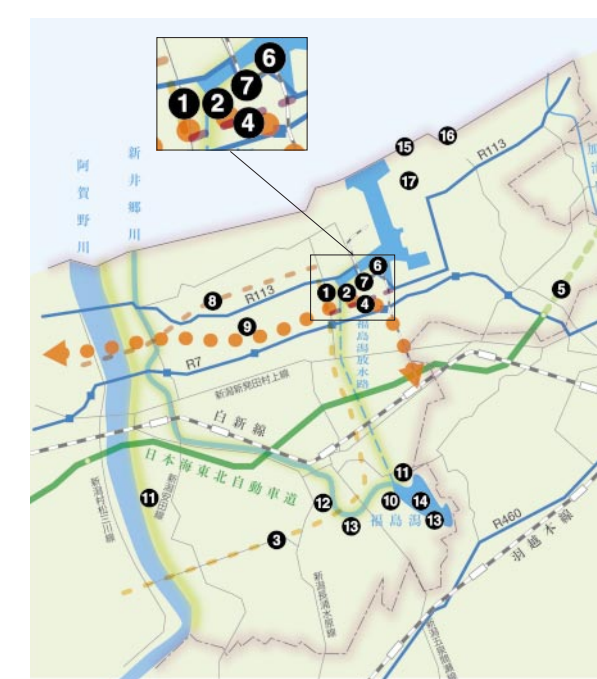
人やものの交流するまち

おおよその区域

・阿賀野川以北の国道7号、113号とJR白新線を中心とした豊栄市・聖籠町に向かう区域

まちづくりの方向

- ・新潟東港とその周辺に貿易・物流・工業関係の施設や企業がさらに集積するよう都市基盤を整備し、新たな雇用の場や広域的な国際物流拠点の形成を目指す
・阿賀野川、福島潟および海岸などの水辺を、親水スポーツや観光などの機能を持つ空間として整備し、潤いのある憩いの場として多様な交流を図る



- 1 新潟東港を活かしたまちづくり
笹山地区土地区画整理事業
輸入促進基盤施設整備
大外環状道路等幹線道路の整備
国道113号バイパスの整備
日本海東北自動車道の整備
外貿コンテナ埠頭の拡充
横土地区土地区画整理事業
新潟東道路の整備
新交通システムを含む新たな交通輸送システムの導入
2 水辺空間の活用と親水空間の整備
福島潟自然学習園の整備
河川緑化の推進
水辺の楽校(がっこう)プロジェクト
県営農村自然環境整備
福島潟のラムサール条約湿地登録
海洋性レクリエーション構想の推進
海浜総合整備事業
3 LNG冷熱の利用
LNG(液化天然ガス)冷熱を利用した個性的なスポーツ・観光拠点施設の整備についての検討

東部軸 花と緑とまなびのまち

おおよその区域

・JR信越本線沿線、国道49号、403号、主要地方道新潟港横越線の沿線、新津丘陵を南端とする区域

まちづくりの方向

- ・緑の丘陵や信濃川・阿賀野川などの自然に恵まれた自然環境の保全に努め、これらと調和がとれた快適な居住環境を提供する
・食料や医薬関連の研究開発と新規起業を促すバイオリサーチパーク構想を推進するまち

おおよその区域

・阿賀野川、北陸自動車道、信濃川、関屋分水に囲まれた区域

まちづくりの方向

- ・日本海側で初めての政令指定都市にふさわしく、県内外はもとより近隣県の中核拠点として高次の都市機能の集積を図る
・空港・港湾・駅など、国内外への交通・物流の拠点を整備し、人ともとの交流の場を創出する
・交通渋滞などに伴う環境負荷を抑えるために、ハード・ソフト両面を整備する



都心および都心周辺部

環日本海圏の核となるまち